

## 令和3年度秋期 システム監査技術者試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT人材教育研究部 2021,12,17

10月10日(日)に行われた令和3年度秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系5試験の合格発表がありました。IPAから発表された得点分布など統計データの分析をもとにして、システム監査技術者試験の合格発表コメントをお知らせします。

### ■システム監査技術者試験 (AU)

[令和3年度秋期 システム監査技術者試験 統計情報]

応募者	2,552人
受験者	1,877人
合格者	301人
合格率	16.0%

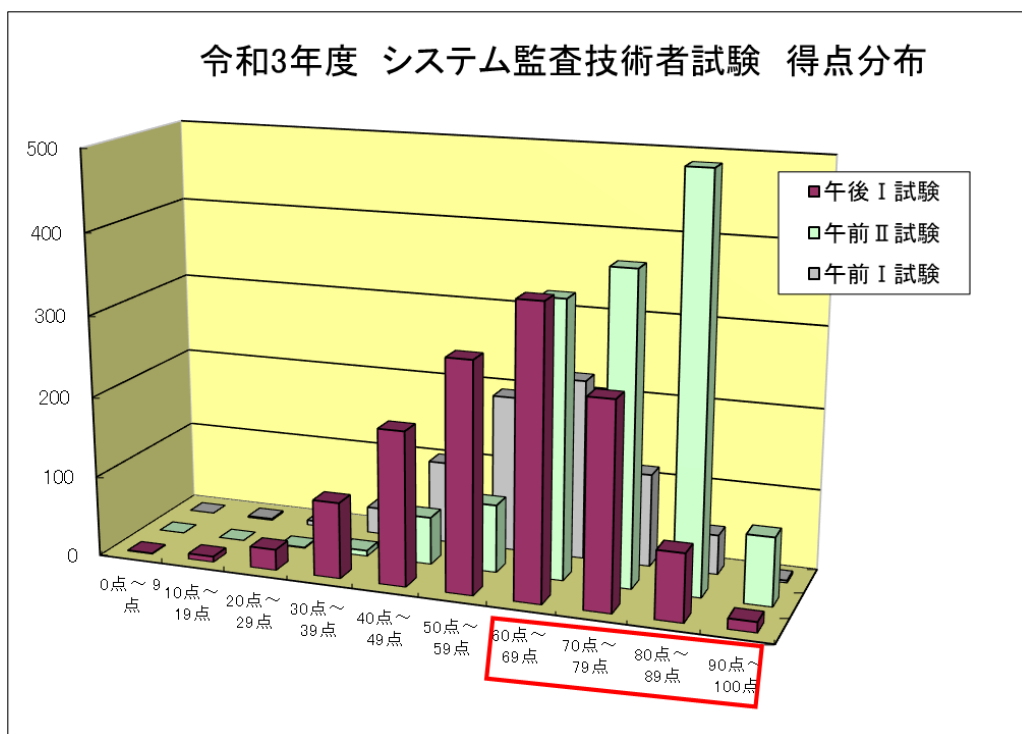
令和3年度秋期のシステム監査技術者試験の合格率は16.0%で、前回の15.3%から若干増加しましたが、平成21年から始まった現在の試験制度では、最も高い結果となっています。

次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

[令和3年度秋期 システム監査技術者試験 スコア分布]

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	0	0	1	D 33	301
10点～19点	2	0	7		
20点～29点	6	1	26	C 58	
30点～39点	33	7	94		
40点～49点	102	59	190	B 306	
50点～59点	194	84	282		
60点～69点	223	341	356	A 301	
70点～79点	115	382	252		
80点～89点	49	534	83		
90点～100点	3	84	13		
計	727	1,492	1,304	698	301
対前試験比率		205.2%	87.4%	53.5%	43.1%
午前免除者(概数)	1,150	61.3%			

合格者数	301	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	390	53.6%	89
午前Ⅱ60点以上合計	1,341	89.9%	1,040
午後Ⅰ60点以上合計	704	54.0%	403
午後Ⅱ-A評価	301	43.1%	0



午前 I 試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前 I 試験の免除者は概算で 1,150 人 (61.3%) おり、受験者の約 6 割の人が午前 II からの受験となっています。この午前 I 試験で基準点 60 点以上取ることができた人は 390 人 (受験者の 53.6%) でした。午前 II 試験で基準点以上の方は 1,341 人 (受験者の 89.9%) で前回の 87.1% から微増です。午後 I で基準点 (60 点) 以上取れた人は 54.0% で、前回の 51.2% から微増です。午後 II で合格点の A 評価だった人は 43.1% で、前回試験の 41.7% と比べてこちらも微増です。

#### ■令和 3 年度秋期 システム監査技術者試験の出題内容について

##### (午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題))

高度試験に共通して出される問題 30 問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていて、テクノロジー系 17 問 (57%)、マネジメント系 5 問 (17%)、ストラテジ系 8 問 (26%) という出題比率です。

毎回、午前 I 試験を通過できる 60 点以上の得点者は 5~6 割で、出題範囲が広いため試験は以外と難しく感じる方が多いです。足元をすくわれないよう確実に対策を進める必要があります。

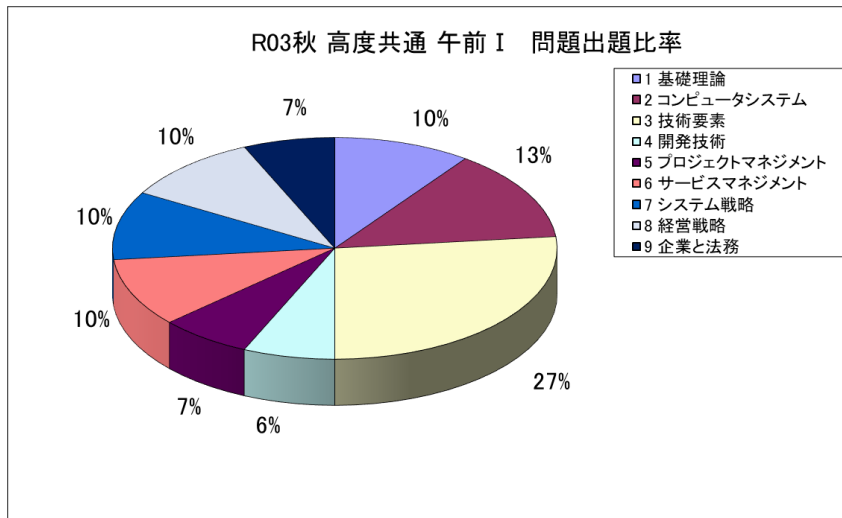
問題内容は、文章問題は 15 問 (前回 17 問から減)、用語問題は 5 問 (前回と同じ)、計算問題が 2 問 (前回と同じ)、考察問題が 8 問 (前回 6 問から増) でした。これらは毎回増減がありますが、考察問題がここ数回少しずつ増えている傾向があります。

- ・問題は出題範囲からまんべんなく出題される前提ですが、今回は、ヒューマンインタフェース、マルチメディアからの出題はありませんでした。
- ・重点的に出題されるセキュリティ分野の出題数は前回と同じ 4 問で、最も多い出題数です。
- ・過去問題はこれまで平均で 7 割ぐらいありましたが、今回は約 6 割で少し減りました。内容的には定番問題が多いのですが、考察問題が多かったことから、全体として前回よりもやや難しかったと思われます。
- ・新傾向問題は次の 7 問で前回の 2 問から大きく増えています。これまでの平均は 4 問程度なので、従来よりも多いといえます。

(新傾向問題)

- 問 1 接線を求めることによる非線形方程式の近似解法
- 問 4 16ビット整数の加算結果でオーバーフローしないもの
- 問 5 物理サーバの処理能力を調整するスケールインの説明
- 問 12 IoTセキュリティガイドラインにおける対策例
- 問 24 テレワーク導入後5年間の効果
- 問 27 リーンスタートアップの説明
- 問 30 特別条項を適用する36協定届の事例

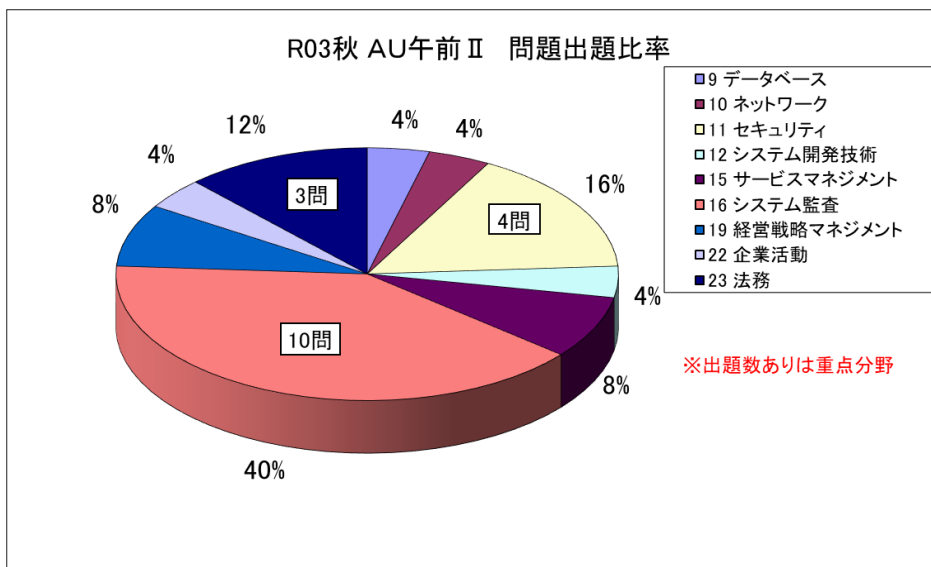
令和3年度秋期 高度試験共通 午前I問題出題比率



(午前II試験(専門知識問題))

監査の専門分野からの出題数は前回と同じ10問で、ここ5回同じ出題数です。システム監査の事例では、ネットワークやセキュリティの技術を理解している必要があるものが多いので、不足している知識を日頃から身につけていく学習が必要です。また、レベル4で出題されることになったセキュリティの問題は前回と同じ4問出題されました。

令和3年度秋期 システム監査技術者試験 午前II問題出題比率



過去のシステム監査技術試験問題の出題は 10 問でした（前回 9 問）。この中で、平成 31 年の試験から 7 問と最も多く出題されていました。

新傾向問題は次の 5 問がありました（前回と同じ）。

問 2 JIS Q 19011 における“第一者監査”

問 6 監査の結論の形成におけるシステム監査人の行為

問 13 GDPR におけるデータポータビリティの権利

問 15 民法の契約不適合責任

問 19 NIST のフレームワークにある機能とカテゴリの組み

#### 〔午後Ⅰ試験〕

午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。問 1 ではチャットボット開発の企画に対する監査という新しい内容で出題されましたが、問題事例を理解するのに技術知識は必要ありませんでした。問 3 はテストに関する知識だけでは解答が難しい問題でした。

問 1 チャットボット開発の企画段階における監査（家庭用品製造販売業） 普通

コールセンタとチャットボット開発概要、想定リスク、監査手続書の社外監査人の助言、修正した監査手続書、助言内容を踏まえた監査手続、社外監査人指摘の問題、オペレータ教育の内容

問 2 システム再構築プロジェクトの企画段階の監査（中堅保険会社） 普通

プロジェクトの体制、再構築計画の検討状況、再構築方式、予備調査の結果、本調査の結果、企画段階のリスクとコントロール・確認、決裁権限者の整合確認、設計工程の想定リスク・要因

問 3 結合テストの監査（産業用機械メーカー） 普通～やや難

工程計画、開発体制、PMO、PM へのヒアリング、結合テスト完了基準と根拠資料、追加確認と検討事項、評価結果確認、課題対応の監査手続、類似不良の品質向上策、リスク低減案、体制確認

#### 〔午後Ⅱ試験〕

午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前々回の IoT システム企画、前回の AI 利用システムの企画・開発に続き、今回は RPA ツールを利用した自動化に関する監査という新しい内容の問題が出題されました。経験がないと記述しづらかったといえます。

問 1 RPA ツールを利用した業務処理の自動化に関する監査について

働き方改革、テレワーク活用、RPA 導入事例、業務選定誤り・テスト不足、自動化におけるロボットの開発・運用・保守のリスク低減するリスクコントロール、体制、必要なコントロールと確認の監査手続

問 2 他の監査や評価として実施された手続とその結果を利用したシステム監査の計画

業務監査・内部監査含む IT 関連の監査手続と結果、システム監査での利用による効率向上と監査部門の負担軽減、他監査の利用と利用可能範囲の検討と理由、想定外の場合のシステム監査計画の見直し内容

